

すまいる



院長通信 ～带状疱疹ワクチン～

今年4月から、高齢者の带状疱疹ワクチン定期接種（一部費用助成）が始まりました。

带状疱疹は、体にできるヘルペスのことで、一生のうち3人に1人は発症すると言われています。初回は軽い痛みと発疹で治療することもあります。2回目以降は神経痛が長く残り、不眠が続いて、うつ病を発症することもあります。带状疱疹は、なかなか厄介で手ごわい病気です。

社会的損失と高額な医療費がかかることから、大阪市も重い腰を上げ、定期接種化となりました。不活化ワクチン（シングリックス）と、生ワクチン（水痘ワクチン）の2つが助成の対象です。効果と持続期間が全く違うので、当院ではシングリックス一択を強くおすすめしています（自己負担1回11,000円×2回）。詳しくは当院スタッフまでお気軽にお声かけください。

＊当院で接種できる費用助成対象者は、65歳 70歳 75歳 80歳 85歳 90歳 95歳になる大阪市民の方です。

スタッフ紹介

いよいよ本格的な夏がやってきますね！

夏は暑くて苦手な季節ですが、花火やお祭りなどいろいろなイベントが盛りだくさんですよ。4月から開催された万博にはいきましたか？

私のお目当ては人間洗濯機ですが、まだ行けていません（泣）。皆さん行かれた際には感想待っています😊

Ns 村田



お知らせ



8/13(火)～8/21(木)休診

8/22(金)から平常通り診察

8月中旬～12月頃まで

当院ビルの外壁改修工事があります。

ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください

内科・小児科・胃腸内科・肛門外科



(医)喜多岡医院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	●	●	/	●	●	●	/
16:00～18:00	●	●	/	●	●	/	/

※受付は診療開始30分前からです

胃腸のお話 ～腸の動きのリズムが良くない～ ～過敏性腸症候群～

過敏性腸症候群（IBS）は、慢性的な胃腸症状が特徴の消化器疾患です。主な症状には、腹痛、腹部膨満感、下痢や便秘の交互発現などがあり、症状にはかなり個人差があります。腸の運動が過剰になることや、不活発になることでおこり、特定の食事、ストレス、ホルモン変動などは症状を悪化させる原因になります。

IBS は機能性障害であり、腸には明確な異常や損傷は見られません。命に関わる病気ではありませんが、生活の質に大きな影響を与えるため症状の緩和を目的とした治療が求められます。

症状により治療薬が異なります。便秘が主な症状の場合にはリンゼスという薬が、下痢が主な症状の場合にはイリボーという薬が効きます。

さらに、ストレスや不安が症状を悪化させる場合には、抗うつ薬や抗不安薬が効果的なこともあります。

漢方シリーズ10回目 ～こむら返りや胃けいれん、月経痛に～ 芍薬甘草湯（しゃくやくかんぞうとう：68番）

芍薬甘草湯は、筋肉のけいれんによる痛みには効果があります。

この薬の主成分、芍薬には筋肉を緩和する作用があり、甘草は炎症を抑え痛みを和らげる働きを持っています。この2つの成分が合わさることで「こむら返り」や「胃のいたみ」「生理痛」などの症状を軽減する効果があります。また、漢方薬にはめずらしく服用後すぐに効果を感じられることが多く、急な痛みに対応できる点も魅力です。

服用時の注意点としては、他の薬との相互作用があるため、併用には医師や薬剤師による判断が必要です。

過剰摂取による副作用として、むくみや血圧の上昇などがありますので、長期間繰り返しの服用は控え、薬に依存し過ぎないことが大切です。

痛みがあるときだけの屯服（とんぷく）使用にしておきましょう。